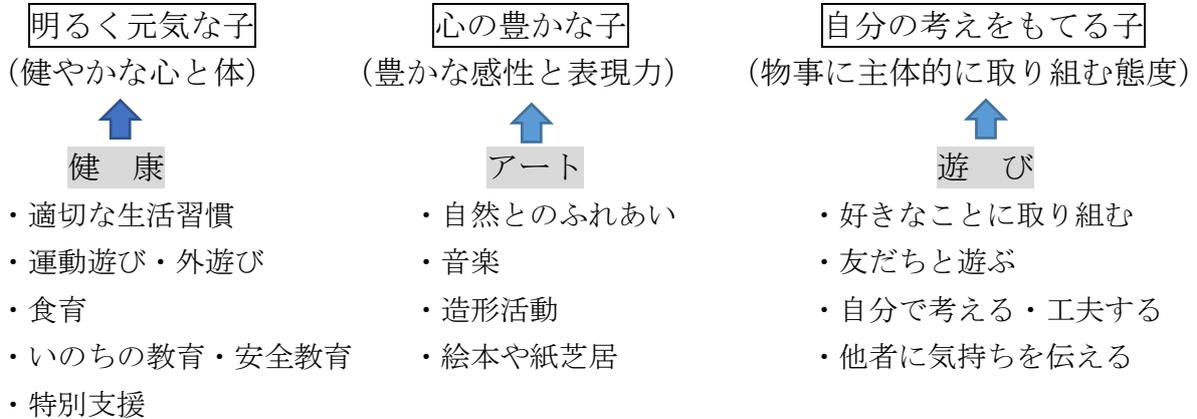


令和5年度 八戸学院幼稚園自己評価 概要

1 教育・保育目標



2 重点目標

- ①法人内大学、短期大学部、高等学校との連携を深め、教育内容の充実と質の向上に努める。
- ②園内環境の整備により業務の効率化を図る。
- ③未就園児教室等、子育て支援活動の推進に努める。
- ④クラス間、学年間の交流を深める。

3 保護者アンケート

本園の教育・保育活動に関するアンケート調査を実施した（回答者は130名）。「そう思う」回答が平均で70%、「ややそう思う」回答と合わせると97%という高い評価であった。重点目標である法人内連携、環境整備、未就園児教室についても同様であり、個別のコメントでも評価の声をいただいた。コメントではたくさんの温かいお言葉をいただき、大変ありがたく感じている。個々の要望については、それぞれに検討していきたい。

以前に課題であったホームページやドキュメンテーションについては質や更新の頻度が上げるよう務めた結果、楽しみにしていただけになったようだ。また、去年は給食についての厳しいご意見があったが、自園調理を開始した今年はより高いレベルを求める声が聞かれたため、おおむね好意的に評価されていると受け止めている。

4 教職員自己評価

昨年と同じ項目で自己評価を実施した。項目によっては回答の対象にならない職員もいるため、その場合は対象外として人数から除外した。したがって、項目によって回答者の数は異なる。

昨年と同様、子ども一人一人との丁寧なやり取り（「教育と保育の配慮」）と安心・安全な環境づくり（「保健・安全管理」）については達成できている（と考える）職員が多く、「保護者への対応」も達成度が高かった。保護者アンケートの結果と考え合わせると、「子ども一人一人を大切にした教育・保育」はかなり達成していると言ってよいのではないだろうか。一方、達成できていないと考える職員が多かったのは、ひとつには計画的な環境の構成であり、これはやはりそのための時間の余裕が確保できていないためであり、園の運営上の課題ととらえている。

今年度重点目標に取り入れたクラス間・学年間の交流については、同学年のクラス間ではかなり実現できた一方で、他学年との交流については課題として残る結果であった。しかし、最後の担当者の記録に見るように、確実に交流は増えており、子どもにも職員にも良い影響を与えていると感じられる。今後も継続して取り組んでいきたい。

6 その他

アンケートや自己評価には出てこないが、昨年課題と感じていた ICT の活用はかなり進み、業務の合理化につながったととらえているが、途中段階であるため、ゆとりを生み出すには至っていない。また、同様に行事の内容や時期の見直しも行ったが、まだ課題は残っていると感じている。こうした方向性は今後も進め、環境の改善に繋げたい。